

鶴見区区政会議 平成２８年度第１回つる魅力向上部会

1 日時

平成２８年６月９日（木） １９時２１分～

2 場所

鶴見区役所 ３階 ３０１会議室

3 出席者

（委員）

大原副部会長、木村委員、柴田委員、猿渡委員、佐々木委員、田中（潔）委員、

（区役所）

河村区長、野村総務課長、奥本魅力創造課長、阪東広報戦略担当課長、

中村窓口サービス課長、石川総務課担当係長、大川魅力創造課担当係長、

山本魅力創造課担当係長、大山魅力創造課担当係長、

定兼窓口サービス課住民情報担当係長、

4 議題

１． 平成２７年度鶴見区運営方針自己評価について

5 議事

開会 １９時２１分

○定兼係長 メンバーがおそろいになりましたので始めてまいります。ただ今から鶴見区区政会議平成２８年度第１回つる魅力向上部会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます窓口サービス課住民情報担当係長の定兼と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、岡本部会長が所用のためご欠席されております。

それでは早速ですが、これより議事進行を大原副部会長にお願いいたします。副部会長よろしくお願いいたします。

○大原副部長 副部長の大原でございます。今年度初めての会になりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、議題の一番上の平成27年度鶴見区運営方針自己評価について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○石川係長 総務課担当係長の石川と申します。よろしくお願いいたします。

ご説明させていただきます。平成27年度鶴見区運営方針自己評価についてですが、この自己評価につきましては、運営方針に記載の戦略と具体的取組につきまして、それぞれの目標の達成状況を点検し、有効性を評価することによりまして、必要な施策の改善や見直しを行い、次年度の運営方針や予算への反映を図ることを目的に行っております。

それでは、鶴見区で行いました自己評価の前に、本日お渡ししております委員評価シートという横書きのものを机の上に置かせていただいておりますけれども、そちらをご説明させていただきます。これまで運営方針の評価につきましては、区役所が自己評価を行わせていただきまして、それに対して委員の皆様からご意見を伺っていましたが、今回はぜひ委員の皆様から直接評価をいただきたいと考えております。つきましては、本日の部会でのご説明を聞いていただいた上で、こちらの委員評価シートによりまして、委員の皆様ご自身のほうで具体的取組の評価を行っていただきたいと考えております。皆様方お忙しい中で、いわば宿題をお願いするような形になってしまいますけれども、大変恐縮ではございますが何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。評価委員シートの記入の仕方のほうですが、ご説明させていただきますと左の段に区としてめざす状態を記載させていただいております。その右側に具体的取組といたしまして、27年度中に実施した取組みを記載させていただいておりますので、それぞれの取組みにつきまして、記入例にありますように、具体的取組がめざす状態の実現にとっても有効であったと思う場合はその欄に二重丸を、やや有効であったと思う場合には丸を、有効、有効でなかったのどちらとも言えない場合につ

きましては三角を、有効でなかったと思う場合はバツをしていただき、具体的取組に対するご意見がある場合は一番右の欄にご記入をいただきたいと思います。なお、その取組みの内容がよくわからなくて評価ができないといった場合につきましては、取組み欄に横棒を引いていただけたらと思っております。評価は部会の所管する経営課題、こちらにつきましては経営課題１と６になります。そちらを中心にわかる範囲で結構ですので、ご記入をいただければと思います。また、ほかの部会につきましても資料等を見ていただいて、評価できるところについてはぜひご記入いただけたらと考えております。申しわけございませんが、ご提出期限ですが、誠に申し訳ないとは思いますが、６月の末までに区役所のほうにご提出いただけたらと思っております。

次に、区役所が行った自己評価、２７年度中に実施した具体的取組につきまして、ご説明をさせていただきます。委員の皆様には事前に全て課題の自己評価シートを今回お送りさせていただいておりますけれども、本日は部会所管の課題につきまして、資料２と資料３それぞれ使わせていただきまして、担当の係長のほうよりご説明をさせていただきます。それでは、経営課題１からよろしくお願いいたします。

○大川係長 それでは、私の方から説明を始めさせていただきます。魅力創造課魅力創造担当の大川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、資料２に沿いまして順番にご説明いたします。平成２７年度鶴見区運営方針 経営課題１、申しわけございません、誤字がございます。「魅力あふれるまちづくり」とご訂正いただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。魅力あふれるまちづくり、戦略１－１ つる魅力の創造、その具体的取組の目標達成状況ということで、まず１－１－１ 地域資源を活用した魅力再発見の取組みについてでございます。取組み内容につきましては、幅広い世代が参加しやすく区の魅力を感じることができる取組みを進める。業績目標に関しましては、事業を通じて「区の魅力が向上していると感じた」

と回答した区民の割合 60%以上と設定いたしました。それでは、具体的取組みにつきましては、こちらの資料 3 ですが、今日は少しでもイベントの臨場感を感じていただきたくて、カラー版を机の上に置かせていただきましたので、そちらをご参照いただけるとありがたく存じます。まず、順番に説明をさせていただきます。つるみブランドフェスティバル、こちらは平成 27 年 5 月 3 日日曜日に鶴見緑地大池周辺で開催いたしました。こちらは、つるりっぷの普及と大人から子どもまで楽しめるイベントを春の鶴見緑地で開催することで、地域の振興、区への愛着醸成、区の魅力・にぎわい向上を図ることを目的として開催したものです。来場者は 3,000 人ということで、非常にたくさんの方にお越しをいただいたイベントになっております。

次にまいります。つるみワールドフェスタ、こちらは平成 27 年 9 月 13 日日曜日に区民まつりと同日に鶴見緑地の山のエリア、国際庭園や政府苑跡周辺で開催をさせていただきました。こちらは鶴見緑地の国際庭園という場所を活用することで、鶴見区の新しい魅力や可能性を創出するとともに、外国人ボランティアの皆様による自国文化の発信と国際交流センターの出店協力などによりまして、区民の皆様や来園者の国際交流に資するイベントとして開催いたしました。

次にまいります。田んぼでどろんこ王国 おやこ×どろんこ=にっこにこというイベントを、平成 27 年 10 月 24 日土曜日に諸口 6 丁目の田んぼで開催いたしました。地域住民、企業、行政が一体となりまして、市内でありながら田んぼがあるという鶴見区の特性を生かし、子どもたちや保護者に「自由に遊ぶ体験」の中から自然環境を体感する機会を創出しまして、鶴見区の新たな魅力を創造するということを目的として開催いたしました。これは、「楽園会議」というイベントの企画運営全てをボランティアさんがやったださるグループがありまして、その楽園会議の皆さんによるイベントになっております。区役所も一緒に取り組ませていただいております。

次にまいります。鶴見 光の花栈敷 2015、これは平成 27 年 12 月 5 日土曜日、6 日日曜日の 2 日間で開催いたしました。鶴見緑地の花栈敷周辺で行いました。地域

資源である鶴見緑地を活用しまして、これまで鶴見緑地になかった冬の風物詩となるイベントを開催し、多くの人に訪れてもらう機会を創出するとともに、その魅力を広く発信して、鶴見区全体のイメージアップや活性化につなげることを目的に開催いたしました。こちらは2日間で3万1,300人のご来場をいただいたイベントとなっております。

次にまいります。トワイライトコンサート、こちらは月に1回、金曜日夜7時から7時45分の間に開催している、区役所1階ロビーを活用したミニコンサートとなっております。区民の皆様は音楽を身近に感じてもらえる場所と演奏の機会を創出することで、音楽人材の輪を広げるとともにつながりを強め、新たなコミュニティの創出と鶴見区の魅力向上を目的として平成27年10月から開催いたしております。来場者は毎回約40名から50名ということで定着してきておりまして、今年度も順調に開催させていただいております。ここに載っておりますこのポスターにつきましては、第1回目のトワイライトコンサートにご出演をいただきました、楽園会議のメンバーでもある梵彩さんという方にデザインをしていただいたポスターになっております。そういったご協力もいただいているということ、皆さんにこの場をお借りしてお伝えしておきたいと思っております。

続きまして、TSURUMI スプリングコンサート。こちらは平成28年3月26日土曜日に鶴見区民センター小ホールで開催いたしました。トワイライトコンサートにご出演いただきました出演者の皆様に一堂に会していただきまして、鶴見区民センター小ホールでコンサートを開催したものです。出演者同士いろいろ交流が図られたりというようなこともねらいの一つとして、皆さんに出演をいただいたものです。これは今年度も引き続き開催していきたいと思っております。

次にまいります。まちあるき並びに冊子の発行、「発見！！つる魅力」の発行です。こちらのまちあるきに関しましては、10月と11月に3回実施いたしました。参加者は31人です。この冊子「発見！！つる魅力」、本日、委員の皆様のお手元に改め

て置かせていただいております。これは3月の下旬に鶴見区内全世帯に配布をさせていただいたものです。小さいサイズの「つるみ10のたんけん地図」というものを置いておりますが、それはこの「発見！！つる魅力」の内容を少し編集し直しまして、小学校3年生を基準に総合学習の副教材としてお使いいただけるようにということで、鶴見小学校の井上校長先生のご協力もいただきながら作成したものです。これも3月末に区内の市立小学校に納品させていただきまして、今年度お使いいただけるかなと考えております。「発見！！つる魅力」に関しましては、区から発行している広報紙などいろいろ情報発信しているツールはございますが、少し趣向の違うものをつくりたいという思いもありまして、手にとってもらえるような内容やデザインなどの工夫を施しまして、区のあたたかさなどが皆さんに伝わるよう、また鶴見区の歴史や魅力をさまざまな年代に発信するということを目的として発行しました。お読みいただいているとは思いますが、また改めてご覧いただけたらと思います。

続きまして、いも苗植え～いも掘り「さつまいもプロジェクト」というイベントです。5月30日に苗植えを行いまして、11月7日に収穫を行ったものであります。その間毎月1回、参加者の皆様が畑に行かれまして、草取りや水やりなどの取組みをされたものです。非常に人気の高いイベントで、参加者数は150組とさせていただいたんですが、270組ほどの申し込みをいただきました。地域の連携や協働の観点から、鶴見緑地の体験学習施設で子どもたちに土に親しむ体験を通して自然や食物の大切さを実感してもらうとともに、地域コミュニティの醸成を図るということを目的として実施いたしました。27年度におきましては、大阪鶴見ロータリークラブからいも苗の提供のご協力をいただき、鶴見緑地指定管理者と共催で実施いたしました。こちらに関しましては、28年度からは鶴見緑地指定管理者の自主事業として実施されております。ご協力いただいております大阪鶴見ロータリークラブとの調整を区役所が行いまして、継続して実施されているという状況になっております。

次に、鶴見緑地コスプレDayでございます。これは月に1回、土・日に鶴見緑地

の山のエリアで開催しております。２７年度の参加者数は延１，４００人ということで、たくさんの方にご参加をいただきました。鶴見緑地が西日本では３本の指に入るコスプレの聖地と言われるような状況になってきている中で、公園利用のマナーに関する問題などが出てきておりました。そういった問題を解決していくための取組みとして始めたものであります。安全・安心にコスプレが楽しめるように、コミュニケーション、ルールやマナー、社会的リスクなどの講習会を実施し、コスプレイヤーの皆様に聞いていただくとともに、更衣室とクロークを設置して公園利用のマナー向上を図り、鶴見緑地の景観や魅力を広く発信して、にぎわいを創出できたらという思いも込めて実施しております。こちらは、鶴見緑地指定管理者と鶴見緑地公園事務所、鶴見区役所魅力創造課の３者で実行委員会を構成しております。運営に関しましては、宝塚大学の神澤助教に一括をお願いしているかたちになっております。今年度も継続して実施をしておりまして、３年目で初の試みとなる４月の実施をしたところ、桜の季節ということもありやはり非常に人気が高く、昨年度１年間で延１，４００人だった参加者数が、４・５・６と３カ月の開催で既に１，５００人を超えるという状況になっております。

続きまして、鶴見緑地情報サイトによる情報発信ということで、こちらは区のホームページから鶴見緑地のホームページにリンクできるような状態にいたしております。鶴見緑地のイベント案内なども載っておりますので、またチェックをしていただければと思います。以上が事業内容の説明となります。

各事業におきまして、参加者や来場者の皆さんにご協力をいただいておりますアンケートでは、魅力向上や満足度に関して概ね９０％前後ぐらいの満足度という状況ではあるのですが、やはり広くとらせていただくアンケートの中での魅力向上や認知度についても、私どもとしては把握して、事業に反映させていく必要があると考えておりまして、平成２７年度の第４回の区民アンケートで「鶴見区では、事業、イベントなどを実施して区の魅力向上に取り組んでいます。あなたは鶴見区の魅力が向上して

いると感じますか」という質問をさせていただきました。感じる、どちらかといえは感じるとお答えいただいた割合が66.2%であり、この数字が先ほど申しました業績目標の60%以上を超えることができましたので、区としましては、めざす状態に対して有効であると一定判断できるかと考えております。私からは以上でございます。引き続き1-1-2の取組みにつきましてご説明いたします。お願いします。

○山本係長　　続きまして、1-1-2「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進につきまして説明させていただきます。私、魅力創造課魅力創造担当の山本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。取組み内容といたしましては、区内で環境活動を展開している人たちや関係局と連携を進めながら環境意識を高めるための取組みや学習会等を実施するという内容になっておりまして、具体的に平成27年度の取組みにつきまして、ご説明いたします。

まずはじめに、鶴見緑地での蛍の幼虫放流を行っております。こちらは、区民をはじめ鶴見緑地の来園者の方々に自然の中で多くの蛍が飛び交う姿を鑑賞していただき、また楽しんでいただくことで、自然の大切さや、その鶴見緑地がある鶴見区の魅力の発信周知を目的として実施しております。区役所と、地域団体である鶴見にほたるを飛ばそう会、大阪鶴見ライオンズクラブ、区内の幼稚園、保育園と連携して27年度から実施しております。27年度につきましては、4月16日に鶴見幼稚園の園児と放流を行いました。28年度につきましても既に4月19日に鶴見菊水幼稚園の園児と蛍の幼虫放流を行っております。また引き続き、区内の幼稚園、保育園と連携して幼虫放流を実施していく予定です。

続きまして、環境学習講座です。こちらは環境に優しいライフスタイルを心がけるきっかけとなる機会を提供することを目的に実施しております。身近なテーマで約1時間半程度の講座を実施しており、27年度は3講座を開催しました。10月16日におきましては「柿渋染めで作ってみよう」ということで、新聞を折り紙のように折りまして、それでバックをつくるんですけども、柿渋でそれを染めまして、柿渋の

特性で使えば使うほど太陽の光で丈夫になるという、そういったエコな特性を利用してエコバッグをつくるという講座を行いました。

また、10月21日には、着古したTシャツで手づくりの布草履をつくるという講座を行いました。また、10月27日には「すてきなガーデニング講座」ということで、手をかけずに庭やベランダですてきなガーデニングを始めるなど、身近な緑づくりについて学ぶ講座を開催しました。3日間で計47人の方にご参加いただきました。今年度もまた実施に向け、調整中でございます。

続きまして、環境フェスタでございます。こちらの取組みにつきましては、子育て世帯を対象に、環境に関してわかりやすく親しみの持てるような内容で開催しております。親子で楽しみながら気づきをもっていただくことで、家庭や地域でのさらなる環境意識の高まりにつなげ、鶴見区の魅力向上を図っております。27年度につきましては今年の1月24日、区民センターの大ホールで小学生とその保護者約170名を対象に「南極クラス」というイベントを開催いたしました。こちらは、長年にわたり南極の昭和基地建物建設の支援を行っていますミサワホーム株式会社のご協力により、ミサワホームの社員の方で実際に南極の観測隊員として南極に行かれた方を講師として招きまして、南極での体験談をはじめ、参加者の体験型学習も取り入れまして、南極を通じて地球環境の大切さを学んでいただける講演を実施しました。また、隊員の活動を通じて子どもたちに夢と希望、仲間やチームワークの大切さを感じていただきました。28年度におきましてもさまざまな角度から環境問題を捉える内容で、引き続き開催していきたいと考えております。

続きまして、種から育てる地域の花づくり活動です。こちらは、自分たちの手で種から花を育てまして、その花をまち中の公園や学校、幼稚園、保育所などに植えることで、潤いのあるまちづくりを進めていこうとするボランティア活動です。花苗を地域で植えることで美しい花と緑のまちづくりを推進するとともに、より多くの区民の方や地域の方が活動に参加していただき、花苗を育成することで花に愛着を持ってい

ただき、地域へ親しみを持つことなどを通して、地域コミュニティの形成につなげることを目的としております。活動の拠点は、今津中学校の西側にあります花づくり広場で行っており、春まきと秋まきの年2回、種まきから育成を行い、その後各地域や公共施設に配布しております。また、鶴見緑地の駅前歌壇にも植え込みを行っております。今年度、昨年度もですけれども大体170名のボランティアの方にご参加いただいております。また、今年度につきましては、種花活動の参加者の固定化が進んでおりまして、活動の規模の拡大をめざし、ボランティアの方の作業の負担軽減や多くの担い手の育成を図るため、鶴見緑地の一部に新たな花づくり広場を増設しまして、各地域が活動に参加しやすいよう整備を図っていきたいと考えております。

続きまして、区役所庁舎周りの花かざりです。こちらは地域の女性会の方々や種花ボランティア、グリーンコーディネーターといったボランティアの皆さんのご協力により、区役所庁舎の玄関前、また南側花壇に花を植えていただいております。そのような活動を通じて来庁者へのおもてなし、ホスピタリティの向上を図るとともに、花と緑のまちづくり活動のPRを行っております。植える花は種花の花苗なども活用して植えていただいて、年間5回程度実施していただいております。

続きまして、「Leading Eco Life つるみ」の事業です。こちらは昨年度、家庭での二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化対策を推進することを目的に、小学校やさまざまな地域団体、また協力企業、協賛企業等と連携しまして「Leading Eco Life つるみ」事業を実施しました。669世帯の参加申込みのもと、昨年7月から11月の5カ月間、電気・ガスの省エネ行動に取り組んでいただきました。

また、この事業の成果報告や優秀世帯、優秀地域などの表彰を行いました「エコのつどい」、こちらは2月20日に開催しておりますが、この中では地球温暖化の国内外の状況に関する講演や今津中学校の吹奏楽部による演奏、また、さまざまな企業・団体にご協力いただきまして、エコ技術や取組みを紹介するエコ体験、エコ展示コー

ナーを設置するなど、子どもから大人まで約４５０名の方にご参加いただき、楽しみながらわかりやすく環境に対する関心・意識を高めていただけるイベントとして開催しました。

取組みとしましては、２７年度このような取組みを行いまして、環境に対する意識が高まったと感じている区民の方が６０％以上という業績目標に対しまして、昨年度の第４回の区民アンケートの結果によりまして、環境に対する意識が高まったと感じている方の割合が６１％という結果になっておりまして、めざす状態、戦略に対して、活動、取組み内容は有効であったと考えております。「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進につきましては以上です。

○石川係長 続きまして経営課題６のご説明をさせていただきます。資料２の１１ページと資料３の３３ページをご覧くださいと思います。

区役所力の強化というところで取組みをさせていただいたものについてご説明させていただきます。区役所力の強化といたしまして、区民に信頼される職員の育成及び褒める・認める組織風土醸成ということで、窓口の来庁者に対しまして、「優しい」・「相談しやすい」・「頼りになる」・「信用・信頼できる」区役所職員となること、また、職員全員がやりがいを持って仕事に取り組み、明るく楽しい気持ちで職場に来ることができることをめざしまして、窓口来庁者アンケートでの満足度を平成２９年度までに８０％維持すること、また仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合を平成２９年度までに９０％以上とすることを目標にいたしまして、２７年度、３つの主な取組みをいたしました。

１つ目といたしまして、６－１－１の接遇・ＣＳ研修です。計画といたしましては、窓口・案内サービスの向上を図るため、係長と係員を中心に接遇の研修を実施する。また、格づけ評価の結果に基づき、弱点を克服するような内容となるようなクレーム対応力を醸成する内容とする。また、研修後に実地指導研修を行うことにより、研修内容を定着する。窓口アンケートを実施し、結果を公表することにより啓発を図ると

させていただきました。業績目標といたしましては区民アンケートで80%以上維持するということで実施いたしました。27年度につきましては資料3の34ページをご覧ください。接遇研修を1回実施させていただきました。また、窓口アンケートにつきましては、大体200名ぐらいの方を対象に年2回させていただきました。その結果として、全体の92%の来庁者の方が全体的な印象としては満足していただけたというような結果になっておりまして、こちらにつきましては昨年度よりも5%ほど増えているということになっています。

また、接遇研修につきましては、業務改善のプロジェクトチームを立ち上げまして、研修内容の見直しを行いました。実地指導を含む研修を実施し、より具体的に研修を実施することができました。その結果、今年度の格づけ調査では星を1つ取得することができました。目標達成につきましては、区民アンケートの満足度が91.5%という結果になりましたので、今年度の目標については達成できたと考えております。

次に、6-1-2になりますけれども、個人情報保護及びコンプライアンスの向上の取組みについてご説明させていただきます。こちらにつきましては、個人情報漏えいをさせないために研修を実施するということで計画を立てておりまして、計画どおり1回実施をさせていただきましたけれども、昨年度よりも10%減らすということを目標に取組みましたが、残念ながら昨年と同件数ということになってしまいましたので、今年度の目標は達成できなかったということで評価をさせていただいております。

続きまして、6-1-3といたしまして組織風土の向上を図るということで研修をさせていただきました。こちらでも計画どおり研修を1回実施させていただきました、マネジメント研修、モチベーション向上研修、コミュニケーション・キャリアプラン研修を各階層に分け、それぞれの研修を実施いたしました。研修により職員の意識が高まったという回答65%以上を目標に取組みましたが、結果は86%となっております。こちらにつきましても今年度の目標は達成したと考えております。

ページを1つ戻っていただきまして、アウトカムにつきましては27年度の達成状況が91.5%で、26年度につきましては87%と、仕事にやりがいを感じている職員は27年度が79.1%、26年度は73.9%でしたので、それぞれの取組みによって向上しておりますので、取組みにつきましてはめざす状態に対して有効であると考えております。私のほうからは以上です。

○大山係長 4月から広報担当に異動になりました私、大山と申します。どうぞよろしく願いいたします。お手元の資料の自己評価シート説明資料、資料2の12ページについてご説明させていただきます。資料3は36ページでご説明させていただきます。

戦略6-2としまして、積極的な情報発信の推進ということで、必要なときに必要な情報を入手できる区民を増やすということをめざしております。そういった目標をこういった形で図っていくかということですが、アウトカムとしまして区役所からの情報発信により必要とする市政情報を入手できていると感じている区民の割合、これらを平成29年度までに85%以上の維持ということを目指して掲げております。

具体的な取組みの目標達成状況ということで、その下6-2-1 さまざまな広報媒体を活用とした情報発信ということで、取組みの内容としまして、27年度の当初にこういった目標を掲げております。区民が求める情報を確実にわかりやすく提供できるよう、広報紙・フェイスブック・ホームページ等さまざまな媒体を活用し、情報発信するということを目指しております。また、こちらの目標としまして広報つるみ、フェイスブックの認知度80%以上ということを目指して掲げさせていただきました。こちらにつきましては主な取組みの実績ということで、広報紙は全戸配布ということで毎月させていただいております。そのほかにもホームページ、フェイスブック等により区政情報発信を随時させていただいております。また、「つるみっ子だより」の発行ということで、A4版のチラシの配布を年11回行っております。

具体的に資料３でご説明いたします。３６ページです。鶴見区役所フェイスブック、６月１日現在でいいね数が５６３件ございます。こちら、もう少しいいね数を増やしていけたらと思っております。区民アンケートの結果によりますと、ホームページ、フェイスブックの活用が低いということがわかっておりますので、今年度はフェイスブックやホームページのいろいろなデザインにつきましてもリニューアルを図っていきたいと考えております。昨年度ですけれども、ホームページのトップページのメインバナーのところもビジュアル的に変えることで効果的な対策をとっております。先ほども周知させていただきましたけれども、区役所フェイスブックへぜひいいねを押していただいて拡散していただければと思っております。

次の、区役所フェイスブックへのいいね数ですけれども、２７年６月から１年間ですけれども、去年の６月の時点で３１０件だったのが、今、６月の時点で５６６件ということで増えていっております。

次に、駅構内の掲示ということで地下鉄の今福鶴見駅、横堤駅、鶴見緑地駅、またＪＲ放出駅のところにも区役所の掲示板がございまして、こちらに毎月広報紙を配架しており、いろいろな掲示物を掲示しております。横堤駅の階段のところには区役所フェイスブックのＰＲの掲示もさせていただきます。

続いて３７ページですけれども、大阪市広報板への掲示ということで、区内に６１カ所大阪市広報板がございます。こちらは毎月２回、掲示の張りかえを昨年度から行っております。昨年７月から月２回更新を行っております。また、この掲示板の下のところにつるりっぷのマークがありますけれども、こちらは広告枠として生かして広告が入っていないところは広報紙の全戸配布のお知らせをさせていただきます。この掲示板のほかにも、イオンモールとアウトレットモールにも区役所の掲示板がございまして、そちらも区役所の情報を掲示させていただきます。

続いて広報つるみですけれども、皆さんのお手元にも資料がございしますが、こちら区内全世帯、全事業者に配布しております。毎月５万３，５００部発行しております。

以前は新聞折り込みをさせていただいておりましたけれども、26年度からは全戸配布させていただいております。

つるみっ子日より、こちらはA4版のチラシになります。お手元にもございますが、こちらから平成27年度から区内の市立小学校で毎月配布しております。全小学校全学年で配布しております。こちらは子育て世代の多い鶴見区の特色を生かしまして、子どもたち、また保護者の方々に区の情報に関心を少しでも持っていただくきっかけとなればという思いで実施しております。また、広報紙との連携を図り、広報紙に誘導していく内容としております。

こちらのつるみっ子日よりですけれども、平成28年全国広報コンクールの広報企画部門で入選をいたしました。大阪市の中では、鶴見区のみ入選をいただきました。

お手元の資料2のところにもう一度戻っていただきまして、こういった取組みを通して、区民アンケートの結果、フェイスブックの認知度を図らせていただいたところ89.2%の方に知られているということで、27年度の目標というのは達成していると考えております。その上のアウトカムというところを見ていただきますと、平成29年度までに85%以上の方々が区の情報発信により市政の情報を入手できていると感じていると掲げておりましたけれども、26年度は63.6%の方、27年度は73.9%の方に情報を入手できていると感じていただいておりますので、めざす状態に沿って実行できていると思っております。以上です。

○大原副部長 よろしいでしょうか。今のご説明いただいた内容に対して、質問がありましたらよろしく願いいたします。区長が前に座ってはるからちょっと雰囲気かたくなりますね。ざっくばらんで結構ですので、皆さんよろしく願いいたします。

私、お伺いしていいですか。経営課題の1ですけれども、以前からお話しあがっているんですけども、すごくいろんな試みをしていただけてですね、書面で見ると本当にたくさんのことを年がら年中やっていただいているなという印象があるんですが、

その中でも区役所の中で、例えばこのイベントよかったなという内容であったのだけれども、例えば広報的なものがうまくいっていなかったなであったり、例えば広報はうまくいったのに内容がよくなかったかもなという取捨選択というものはあるのかなと思うんですけれども、そういったものっていうのはやられていると思うんですけれども、それはどのような感じなんでしょうね。どういうふうに進めておられるのか。

○大川係長 イベントを実施するにあたって、広報というのは非常に大事な部分です。ので、できる限りの手を尽くしてということを常に心がけております。イベントの内容が固まった時点で報道発表から広報紙をはじめ、交通局との連携などいろいろ考えてこれまでやってきております。タイミングを逃してしまいますと、交通局は連携できないということもありますので、そういう場合は反省材料も出てまいります。

27年度に関しては、交通局とのPR連携を積極的にさせていただきまして、概ね想定した来場者数お越しいただくことができたのではないかと考えております。

ただ、イベントの実施に関しましては、常に検証・検討が必要と考えております。広報の手段、イベントのあり方などさまざまな検証・検討を重ねながら取り組んでいきたいと思っているのですが、地域の皆様との連携などもやはり必要な要素と思っております。どのような方法があるかなどのお知恵をいただける場に、この会議がなればいいなと常日頃から思っております。ざっくばらんにお話しいただけると非常にありがたいと思います。

○大原副部長 なかなか運営されるほうは大変かと思うんですけれども、例えば一度やってみてこれ全然あかんかったなというやつもあるかと思うんですが、できれば繰り返しやっていただければなという思いはあるんです。というのは、今回行けなかったけれども日程の都合とかで合わなかったけど、次はぜひ行きたいなであったとか、私みたいにこれやってたん知らなかったな、行きたかったな、行けなかったな、今年こそ行こうというふうに思っている人もいると思うんですよね。そういうような継続的な取り組みも行っていたきたいですし、この中ですごく好評だったけれども、例え

ばどろんこ祭りのように人の数的な問題もあってですね、人の数少なくしていかなくちやいけないとか、ボランティアの方の数的な能力が集まるか、そういったものに関しては例えば区役所のほうが全面的に別の形でバックアップするなりとか、人の枠を広げるだとか、そういった拡大というものも、ものにはあるかと思うんですけども、自分としてはそういった選択というか広がりっていうのもやっていただければうれしいなと思うんですけども。

○大川係長 田んぼでどろんこ王国、お越しいただいたお子様、保護者の皆様からも本当に楽しかったという声をいただきまして、この写真で伝えきれないのがすごくもどかしいのですが、キラキラした笑顔を子どもたちが見せてくれたことを、運営してくださっている楽園会議の皆様も感じられたと思います。

ただ、イベントを実施するにあたって区役所としてまず考えないといけないのが安全管理でありまして、どのイベントに対してもその視点は外せないと思っております。その点を踏まえて募集枠メンバーで話し合い、田んぼでどろんこ王国に関しては、安全管理がより必要になるということで、最大何人までいけるかというところを考えて100人とさせていただきました。過去3年間の楽園会議のイベントの中で、1年目、2年目のイベントに関しては参加人数を制限しませんでした。事前申し込みもなく、当日お越しいただいた方が誰でも参加できるというものです。それができるイベントか無理なイベントかということを、メンバーの皆さんがすごく考えてくださり実施できております。

田んぼでどろんこ王国に関しては、「またやって」というご要望も参加者の方や抽選に漏れた方からもいただいているところです。楽園会議で今後のイベントについて検討していく中で、また再現できるかもしれないですし、そこはまたメンバーの皆様のお力のもと、たくさんの方にご参加いただけるようなイベントをつくりあげていけたらなと思っております。

継続という点につきましては、ブランドフェスティバルというイベントを平成25

年から３年間開催させていただきまして、大体３，０００人から３，５００人ぐらいのご参加を毎年いただいております。非常に人気のあるイベントだったのですが、やはり若干マンネリ化しているかなというお声もいただいたりということもありまして、３年を経過して検証もやはり必要ということで、これに関しては２８年度再構築をして、時期も少しかえて、鶴見スプリングフェスティバルというかたちで実施できたらと現在検討をしております。

もう１つ継続というところでいきますと、１２月の光の花栈敷ですが、これも「またやってね」とか「規模を拡大して」などいろいろなありがたいお声もいただいているところです。いかんせん役所の予算の中でイベントに対するものがどれくらいとれるかというのはかなり厳しい状況でもあり、そういったことも含めて検討しながらやってきているところでございます。同じことが継続してできればいいのですが。まだ検討段階で何とも言えないところですが、やはりそういったお声があるということのを少しは反映させたかたちにできるように努力したいと思っておりますし、そういう意見をたくさんいただけたらというふうに思います。

地域の皆様との連携の仕方はいろいろあると思いますし、「こんなふうにしてみたら」とか「こういう方法があるよ」とかいろいろ教えていただけましたら、何かかたちにしていきたいと思えます。２８年度はもう予算が決まっていますので、予算が必要なことは非常に難しいところでございますが、２９年度の予算要求ですとか運営方針の策定には、この部会で皆様にいろいろお知恵をいただいたり、話し合ったりしたことを何かかたちにしてのせていきたいと強く思っておりますし、そういう会議、事業のあり方をめざしたいです。

○大原副部長 議論が欲しい。

○大川係長 欲しいです。

○大原副部長 アイデアね。

○大川係長 はい。

○大原副部長 ありがとうございます。何かご質問ないでしょうか。

○猿渡委員 よろしいでしょうか。

○大原副部長 お願いします。

○猿渡委員 今のお話を聞きながら思っていたんですけども、イベントだけではないんですけども、数値目標があってその数値に対しての追及があってっていうところで、自分の仕事が数字の仕事ではないものですから余計にトライアンドエラーの余地っていうのはどれくらいあるのかなというふり幅ですね。果たして失敗は許されるのか、1回失敗すると、次から絶対無理になるのかというところで取組み方も随分変わってくるだろうと。区役所力の向上のところでも触れられておりましたけれども、職員の皆さんがいきいきとやりがいを持ってっていうところでは、やはりそういうふり幅というか余地もまた必要になるのかなというのを思ったので、もしお聞かせいただけるのであれば、トライアンドエラーの余地っていうのはどれくらいありますかっていうところだけ伺いたいなというふうに思いました。

○石川係長 数値目標に達しなかったのですぐにやめてしまうということにはならないと考えております。そこをまたPDCAを回すと言いますか、取組みの方法を考え直す必要があるということで、やめてしまうということではないです。

○猿渡委員 ありがとうございます。継続のほうにギアを入れやすいのかなというふうに思いました。

○田中（潔）委員 ちょっといいですか。私は去年の10月に任命されまして、できるだけこういう行事にですね、ウォッチャーとして、みんな行けないですけど行ける範囲で見させてもらっています。まずもってですね、区長さんはじめ皆さんの非常に盛りだくさんのイベントですね、素晴らしいと思います。本当にお礼言いたいと思います。私は今まで余りこういうこと、サラリーマンやっていたんでわからなかったんですけど、この努力ですね、非常に感謝したいと思います。

それと具体的にですね、もうちょっとお話ししたいんですけど、例えば鶴見光の花

棧敷 2015 ですか。とてもいい企画やったと思うんです。私はこのレーザー光線見ててですね、かもしだす雰囲気いうんですか、独特のもので、異次元のそういう世界におるような感じしました。これをですね、たくさんのご家族の方見に来ていたと思うんですよ。しかし、老人がちょっと少なかったんじゃないかと。だからやっぱり老若男女いうんですか、もうちょっと老人も含めた形のそういう盛り上げ方ですね、工夫されたらというふうに思います。夜のことですから、老人は危ないと、こけるといふことで出られないと思うんですけども、そこは地域の力もお借りさしましてね、我々協力きつとしてくれると思うんですよ。今、ここに木村さんもおられるんで、ぜひ地域のボランティアですかね、そういう組織とも連携して、もう少し老人も出てくれるような盛り上げ方もされたらどうかなと。例えばバスを出してあげるとかね。コミュニティバスいうんですかね、チャリティバス。あそこへイベントされるときチャリティ箱置かれてですね、500円か1,000円放り込んでくれというふうな形にして、それでどれくらい集まるんか知りませんが、そういうことでバスを1台チャーターしとくとかね。そういうことをしたら老人も出やすいんじゃないかと、例えばの話ですけど。

○木村委員 まさにそのとおりです。ここに入っている光の花棧敷、たくさん集まりましたわね、確かにね。私は自転車で来ようと思ったらこれるんですけども、晩にね、お年寄りがもっとたくさん行こうと思ったら、今おっしゃるように特別のイベントがある場合に、前の福祉バスみたいなね、そのときのために出すぐらいなことせんと、なかなか来ない。

あと、今年は夏に2日間盆踊りをやるいうことになってますよね。これもたくさん来ますねん。来るけれども、お年寄りは一ちょっとしんどいんですよ。近くの方はよろしいよ。隣が緑地やいうところはお年寄り何ぼか来るでしょうけど、全体的なことになってきたら、なかなかうちの榎本から晩、盆踊りあるから行ってや言うたって、今の状況だったら来て楽しんで帰ろう言うたらバスがなかったりするんで、それはなか

なか来ないですね。そこんところはどうするんかいう、緑地の立地条件いうんかそういうふうなところがね、やっぱり出てくるんですよ、いろいろと。行事によっては。

○田中（潔）委員 役所としては予算があるからね。そのバス1台チャーターするのも大変なんかな。

○木村委員 全体的なところで引っ張ってくるのは難しいところあるよね。「盆踊りあるよ、2日間。」って言うたって、行かれへんやんかってはっきり言われた。それがやっぱりあるんですよ。

○田中（潔）委員 もう1ついいですか。私、盛りだくさんの中ですね、つる魅力っていうこの冊子ありますよね。一度拝読させていただきました。とってもよくまとまっていていいですね。誰が発案されて企画されて編集されたのか、よくまとまっています。ありがとうございます。私ら知らんことですね、いっぱい載ってまして、つる魅力を増すという意味でのいい冊子だと思います。これが小学校、井上校長先生が協力してやってくれたいうことやけど、子どもたちに教えるいうことは非常にいいと思います。こういう企画ですね、またつくってやってください。以上です。

○柴田委員 どろんこで遊ぶのね、これとても喜んでおられたようですけども、以前に井路清掃と言って川の清掃やったときに、どんな魚とかどんなんがいるかいうね、そういうのをやったことはあるんですね。長年、大分長く井路清掃をやってきたんですけども、何かそういうものを少しね、つながるね、何かがあるかなとそういうのがぶつつり。種花は続けてくれてはるんですけども、何かぶつとね、切れているような行事が。そんな気がします。花栈敷のはね、一部ろうそくづくりなんかをして長年続けてきたことはあるんですけど、こういう手が加わるとこんなにもダイナミックになるのかなと思います。あのときは細々とやってましたけど。3万人以上の人が出たというのは、これはいろんな地域から来てると思うんですね。その辺の割合はわかりませんか。

○大川係長 一応アンケートでとらせていただいておりますが、今、すみません、

手元には持って来ておりません。

○柴田委員 私のところは鶴見北なんですけども、あまり周りで聞いても、行ったという声を聞かない。割と近いんですけども、行ってみたらと言ってもそんな感じだったんで。どこからこれだけの人が集まったのかなと、少し最初に聞いたときに。

○大川係長 自転車で来られる方が圧倒的に多かったです。地下鉄の利用が増えることなどもねらって地下鉄の全駅にポスターを貼ったり、チラシを置いたりもしたんですが。

○柴田委員 以前に木村委員が花博は鶴見の地域にあって、鶴見の人があまりっていうことをおっしゃったことがあるんで、その辺がね、もう少し鶴見の中でっていう感じのところですね、どろんこ遊びはあれですけども、していただけたらなと。まちあるきはね、鶴見の中ですけどももちろん、その辺がちょっと思いました。

○大川係長 そうですね。広域に鶴見区の魅力を発信するということも魅力創造担当の仕事の1つであると思っておりまして、そういう意味も持ちながら、区民の皆さんにも区外からもたくさん来てもらえるイベントとして、光の花栈敷に関しては目標設定をしました。本当にたくさんの方が来てくださるイベントでしたので、アンケートも確実にとるということは難しくて、来場者数に比べて少数のアンケートしかとれなかったのですが、区内からお越しいただいている方が圧倒的に多くて、自転車で寒い中お越しいただいたり、本当にありがたいと思います。

○柴田委員 多分区政会議が、その前にいろんな方がかかわっておられるからそういう意見はいっぱい出ていると思うんですけどもね、あえて私がこういうことを言う必要はないと思っているんですけどね。長年やってきたことは少しでもされたらなと一部は思いました。

○大川係長 井路清掃でされていた生き物の観察だとか。

○柴田委員 そういのを結構子どもたち喜んでましたのでね。

○大川係長 この田んぼでどろんこ王国の時に、生き物を見つけてすごく喜んで観

察するお子さんなどに、田んぼの持ち主でいらっしゃる楽園会議のメンバーさんがきちんと教えてくださるという要素も取り入れさせていただきました。これまでやってこられた取組みもどこかに継承していけたらなということは常々思っておりまして、そういうところもいろいろ教えていただけるとありがたいと思います。

○大原副部長 目標達成状況が今、66.2パーセントっていうことじゃないですか。そこは先ほど田中委員がおっしゃっていただいたご年配の方に対してのアプローチも入ってくるのかなと思うんです。例えば花栈敷のほう、ご年配の方なかなかいらっしゃるににくいであったりとか、イベント自身がやはり若い方を中心とした、ご家族持ちの方のものが多いと思うんですけれども、例えば先ほどのバスのお話であれば、鶴見区の方がもっとたくさん来れるようになるということもありますし、ご年配の方も来れるということで、アンケートありますよね。アンケートはいろんな世代をとられているということなので、やはり高齢者の方たちにとって鶴見区がどうとられているかっていうのも多分出ていると思うんですけれども、その票も多分上がるでしょうし、あと鶴見区内の中の若い方たちも知らなかった方たちとか、遠かった人も来れるという意味では、2つのいいことがあるかと思うんですけれども。なかなかお金の面であったり、例えば募金とかあるとするじゃないですか。僕、多分入れると思うんですけどね、実際、知り合いの人間、行った人間はお金出してもええぐらいやっというてはったんです。そこで集めたお金を次の予算に組み入れるってなかなか難しいかもわからないですけども、何かには使えるんじゃないかなとは思いますが。そういったバスの件とかっていうのは前からいろいろ出ている話なので、またご検討いただければ個人的にはうれしいなとは思いますが。すごいお金かかると思うんですけどね。

○大川係長 いろいろ調べてみることはしておりまして、交通局にも行って貸し切りをした場合にどうなるかとかいろいろ調べたりはしております。

ただ、いろいろな条件をクリアしないといけない部分がございます、臨時バスも

そうそう簡単に出してもらえないわけではなく、続行便でさえも何人乗るかという確保が確実にできないと出せないとか、そういういろいろな条件があります。貸し切りにした場合も、通常の停留所以外の場所に停留所を設けないといけないという条件や、確実に転回できる場所が必要であるという条件があったりします。そうすると大型のバスというのは非常に難しいということも出てきまして、大型ならどうなるのか、中型ならどうなるのかな、小型ならどうなるのかなという試算だけでも思いやってみました。いろいろな地域から必要になると思いますので、例えば放出、今津、茨田、茨田東の4コースとして、そこから鶴見緑地まで2往復をした場合に、大型バスなら大体30名から60名乗れるんですが、45万から50万円ぐらい。中型なら、40万円前後。小型なら35万前後。ざっくりとした試算でもそれぐらいの費用が必要になります。緑地で実施するイベントに等しくバスを貸し切るとなると、相当な費用を要するということになってまいりまして、なかなか費用対効果なども含めて慎重な検討が必要になってくると考えております。何か方法がないかと区役所としても考えていけないといけないと思っております。

○河村区長　そこで集めたお金がね、それに使えるという仕組みでもあれば、僕らじゃんじゃんお金集めもするんですけども。なかなか仕組みになってないんで、それはほかの財布にポッと入ってしまうみたいなことになるんで、なかなか難しいところあるんですけども。

○大川係長　予算の仕組みが本当に難しいところもありまして。自分の話で申し訳ないのですが、住んでいる地域の市民体育祭や市民祭りとかイベントに、近所のおばあちゃんが「行きたいけどよう行かへんわ」とか言われたら、車に乗せて一緒に連れて行ってあげたりとかするんです。そんなふうに地域で皆さん声かけあって、「おばあちゃん乗せていってあげるわ」とか「うちの車何人乗れるから集まっていこうか」とか、そんな話になったりとか、どうでしょうか。

○木村委員　それぐらいはあります。

○大川係長 そうですね。区民まつりとか区で一番人が集まる最大のイベントですよ。あのイベントに各地域からすごい人数の方がいらっしゃるというのは、きっと地域でそういう取組みをされているのかなと思ったりもしていたのですが。私も地元でそういうふうに近所の方を乗せて一緒に行ったりするので、そんなふうに助け合っていたくというのもあればいいなと思いますし、ありがたいなと思ったりもします。どうですか、夜のイベントなどは、そんな協力をいただいたりするのは難しいですか。

○木村委員 今言うように、何人かは一緒に行く、そら来ますけどね、車に乗って。それはごく限られた、私が運転しとったときやったら限られてきますやんか。その程度の人はありますが、地域でね。

○田中（潔）委員 駐車場の問題もありますからね。あそこを改良してあげるとかね、そういうことをしたらやりやすいかもわからへんけど、それはそれでいろいろ問題あるでしょう。割と私の住んでいるところだけか、皆さんもそうだと思うんですけど、私は鶴見北の第4町会の者ですけど、割と民意が高くて協力的です。だから、年寄りが行きたい言うたら乗っけて行ったらかというのはそういう人がたくさんあるけども、やっぱり車で行ったらどっか停めとかないかんですよ。だからその辺がちょっとね。

それと、私ばかり話ししとったらいかんのかもわからないけども、猿渡さんとも関係あるんで二人でちょっと提案ということで、私がとっかかり言うんで、あとフォローしてほしい。実は鶴見北公園というのがありまして、そこです、こんなことをやっているわけですよ。大阪市の公園局かな、が花の苗をくれるんですよ。パンジーが多いんですけど、パンジーとかそのほか若干2、3種類。それをですね、公園の網があるんですけど、そこへ掛けてあげるんですね。種をくれましてそれをみんなで植えつけて、これ猿渡さんの学童の協力でですね、花育てるんですよ。水やりはやっていただいているんです。夏場なんかの水やりとかですね、交代でやっていただいていると思うんです。きれいに咲くんですね。子どもたちがそういう苗から自分で育てる

と、慈しむいうんですか、そういう植物をね。そういう心が育つんじゃないかと思うんですよ。

さっきの説明であつたですね、主婦の人達とか、おじいちゃんおばあちゃんがいろいろ植えつける説明があつたと思うんですけど、あれがもうちょっと広められたら、そういう公園を管理してますんで、みんなでね。地域の私達もやっているわけですけど、そういう人達に協力いただいてですね、子ども会なりですね、そういうところと組んだら、各公園に学童たちがつくった花壇か、猿渡さんの学童さん、ようやってくれているからきれいですよ。

○猿渡委員 ちょっとこれ2年続きでやらせていただいて、公園愛護会に加わって公園の清掃もやらせていただいているんですけども。いろんな効果が実はあって、最初、愛護会長の宮本さんとお話したときは、子どもたちが植えたその鉢植えを落とされたり、割られたり、壊されたりするんじゃないかっていうのも言われてて。というのが、町会の管理されている倉庫が多分2年続けて壊されたんですね。戸が外れて、非常に暴力的な壊れ方で、決して子どもがやったのではないだろうというような状況があつたりとか、公園に落ちているごみを子どもたちと一緒に拾っていきますと、大人が捨てたごみがいかに多いかと、子どもたちの捨てたお菓子の包みやったら何となく子どもたちは自己責任的な感じになるのですが、たばこに缶ビールの空き缶であつたりが非常に多いというところで、取組みの提案をいただいたときに、挑戦やなというところでやりましょうということになりましたんで。実際2年間、1つとして落ちた植木鉢はないんですね。子どもたちがやったっていうのをわかるように表示していただいているので、皆さんで見守っていただいたような感じはあろうかと思います。そこに、子どもたちが自分たちで何かをしたことによって、着実に子どもたちがその行為に対しての愛着を増しました。水やりに行かな枯れるんちゃうかというような声が子どもたちから出たり、咲いているだの枯れたのっていうのに関心持ってみているというところで、その下に落ちているごみを拾って捨てようかみたいな気運も高まり

ましたし、非常に効果としては大きかったなというふうに思いますし、今後も機会があったらぜひ一緒にさせていただきたいというふうに思ってます。いろんな公園でお勧めのイベントかなというふうに思っております。

○佐々木委員 種花活動やられてますでしょ。今まで今津のほうやったけど、今度は鶴見緑地のほうでもやるということで、皆さん各地域からそれぞれ担当が寄って、今おっしゃるように、もし子どもがそういう中でするとかっていうことでもいいんですけどね。種花活動もなかなか皆さん一生懸命やってもらってますから。各地域にも花咲いてきたらみんな持って帰ってもらってもやっています。それはまた別なんでしょうけどね。地域でもそのようにやってはりますんで、その人達と一緒に、もしできたら子どもの時間帯に合わせてやれるような地域ごとにですね、やってもいいんじゃないですかね。種から育てる、普通、各学校でもね、小さな植木鉢でチューリップを植えたり、学年によってしますからね。夏だったら二年生やったらアサガオを植えてみたりしますが、定期的にそういうものも取り入れてね、また小学校なんかと対応されてしたらいいかなと思いますよ。この種花もなかなかね、皆さん一生懸命やってもらってますから。

○山本係長 そうですね。各地域を通じて12地域ごとにそれぞれ公園であったりだとか、小学校であったり、福社会館であったり、それぞれ地域ごとに実情に応じて花を植え込んでいただいたり、水やりとかしていただいたりなどしております。このお配りしていますパンフレットにもですね、先ほど田中委員と猿渡委員がおっしゃっていただいた、一つの鉢に植えるという公園での取組み、こちらのほうでも種花でつくっていただいた花を植えるという形で協力もさせていただいてまして、引き続き、種花の花苗植え込み先をいろいろと工夫してPRを図っていったり、小学生等の子どもたちとボランティアの方が交流できるような形で、取組みをいろいろ工夫して考えていきたいと思っております。

○猿渡委員 保育園さん、幼稚園さんとかはどうなんですかね。取組みできそうな

幼稚園っていうのはあるんですか。

○山本係長 実際に地域を通じて、その地域ごとに実情に応じて、鶴見北の地域でしたら鶴見幼稚園さん等に出荷しており、そこで園児さんが植えたりっていう形があります。

○木村委員 うちでは毎年、榎本幼稚園にね。

○田中（潔）委員 それはとっても大事なことだと思うんですけど、小さいときにそれを慈しむ言うんですか、そういう気持ちを持っておればですね、大きくなっていく中ですね、荒らしたらあかんと、公園をね。きれいにせないかんのやと。そういう心が育つと思うんですよ。まさに、猿渡さんのすごいところは、皆、水やりしてくれてね、きっちり。きれいですよ。鶴見でも指折りのきれいな公園だと思いますわ。見に来てくださいね、また。

○大原副部長 植木鉢にペインティングもしているんですね。

○猿渡委員 子どもたちに絵を描いていいよということでいただきますので、子どもたちに絵を描いてもらって、1個として同じものがなくて、飾って行って終わった後は、今度それを家庭に持って帰ってまだ咲かせ続けている子も中にはいたりとか。

○大原副部長 華やかでいいですね。

○木村委員 種花って、緑地でもするんでしょ。あれは分けるわけ、水やりの関係を。遠いところから来てやっているという、それを解消するために一部、緑でもやるわけ。そういうこと。

○山本係長 今年の秋からですね、ボランティアで定例的に行っている会議で運営、やり方を決めていっているんですけども、いったん9月から始まる秋まきの活動で、地域のつながりも引き続き持つことが重要だということで、今津の花づくり広場で、種まきからプラグトレイの移植まで、200ぐらいのマスがあるトレイに小さい苗を移植のところまで12地域一緒にやりまして、そのプラグトレイの状態から北と南とで6地域ずつ分かれて、そこからそれぞれプラグトレイから3号ポットっていうよく

見るプラスチックの鉢まで育てます。

○木村委員 そしたら、そこまで育ったプラグトレイを緑地へ持って行くわけ。

○山本係長 そうです。

○木村委員 緑地へ持って行くわけ、その状況で。

○山本係長 半分ずつに分けて3号ポットまで育てます。

○木村委員 それまでは、今までどおり今津でやるわけ。

○山本係長 いったんそういった形でスタートをしようと思っております。

○木村委員 水やり当番が大変やね。

○山本係長 そうですね、水やりがそれぞれ北と南に分かれて。榎本さんと今津さんは今、今津のほうで大分していただいている状況でして。

○大原副部長 1点だけいいですか。6に関して1つもないと寂しいので。コンプライアンスの件なんですけど、前年より10%減で昨年と同件数ということだったんですが、目標未達成ということなんですけど、私もメーカーなんでクレームゼロっていつも掲げてます。なかなか難しいなと思いながらクレームゼロって掲げているんですけど、なかなか達成はできてないんですけど、無理だと思っても最初からゼロでやっているんですね。結構効果は出てきて、去年なんかはゼロに近かったことがあって、1件だとか。もともと数件あったものが。目標は高く持たないとゼロにはならないなということで、ゼロでうちはあえてやっているんですけど。10%減ってというのはなかなかささやかな目標かなと思うので、コンプライアンスは、個人情報もそうなんですけど、もうちょっと目標って高くてもいいかなと思うんですよね。本来はゼロであるべきっていうところでもあるので、ここはもう少し目標を高くしていただきたいなというように思います。

○石川係長 目標は高く頑張ります。

○大原副部長 なかなか議論を活発にやらせていただいて、こんな感じで時間がいい時間になってしまったんですけれども、議題のほうは今回に関してはこれで終了

とさせていただいてもよろしいでしょうか。何かご質問等は。

○猿渡委員 1つよろしいでしょうか。予算っていうのが結局どのお話でも最後に出てくるのかなと。絶対予算は必要で、予算の縛りというか、はっきり申し上げまして予算の足かせはいろんなものにはまってきて、シーリングがかかってくるとどうしてもマイナスになっていくというところを、予算が減ったから何々ができないには、イコールではないから多分そうなるんだろうなと思ったんです。予算のマイナスを打ち消す何かを考えていくということになると、恐らくマンパワーなのかなと。

先ほどからバスの運行とかいろんな話を聞きながらも、マンパワーになるとこれはちょっと個人の責任が高くなってしまったりとか、大変だったりとかいろいろあると思うんですけど、これが企業の力であるとかっていうのは、どうにか誘導していけないものなのかな。それも鶴見区内の企業さんのご協力があって、何か実現できるものが、恐らくこれに対してやられている事業なんかはその辺にあたるのかなと。それをもう少し広範囲に公募してええもんかっていうのはそれはルールがあると思うんであれなんですけども、予算がない部分でつけられないけども、区内の企業、人が得意分野にしていることはないのだろうか。みんなが苦手ということはないと思うんですよ。どっかで得意な人がおるん違うかなと。得意としている会社、得意としている人がおられるんちゃうかなと。その辺をどう引き出すかっていうところが、予算の開放策というか予算の縛りに対する決意とかおおむねとしてあるというのはすごく大事なことはないかなと思いました。

○大原副部長 バスの件に限らず、そういったことに関してですね。

○猿渡委員 区長さんの顔が最後険しいというか、予算がねっていうところで苦しいやろうなって思いながら見てたんですけどね。

○大原副部長 そこも含めてご検討いただけたら。

また、地域のほうも何か、例えば、先ほど猿渡さんのお話あったんですが、木村委員も話してもらったんですけど、例えば駐車場とかを用意するので、地域の人の手を

借りられませんとかいうやり方もあるかなとは思うんですね。そのとき僕は、地域でそんなことができるかどうかというのはあるんですけど、何言っとなねんって言われるかもしれないですけど。

ただ、マンパワーっていうのは当然ありますし、マンパワーを使うときにその下の支えがないとそれも出しようがないところもあるので、例えば駐車場であったり、そこは区役所の側も市に働きかけてフォローするので何とかやりませんかというのは、流れ的にはあるかなとは思うんですけどね、何となく。そういうのもご検討いただければと思います。ご質問等はこちらで大丈夫ですかね。

そしたら最後に、事務局のほうから連絡事項を。

○石川係長 本日は、多くの方の大変貴重なご意見いただきまして、本当にありがとうございます。今日いただいたご意見をヒントに、また区役所のほうでもいろいろ考えさせていただきまして、何か形にできるようなことを考えていきたいと思っております。また委員の皆様にお声かけさせていただきますので、その際にはぜひご意見をいただけたらと思っておりますので、よろしくお願いします。

それでは、先ほど議題の中で説明をさせていただきました委員評価シートについて、猿渡委員には後ほどご説明させていただきますけれども、再度のご確認だけさせていただきますと思います。本日お配りさせていただいております委員評価シートにつきましては、各具体的取組についておわかりになる範囲で結構ですので評価をしていただきたいと思います。ご提出についてなんですけれども、お忙しいところ誠に恐縮ではございますけれども、6月30日までに区役所の4階の総務課までご提出をお願いしたいと思っております。また、メールアドレスをご登録いただいている委員の方々につきましては、明日以降にメールの配信もさせていただきますので、メールでご提出いただいても結構です。よろしくお願いいたします。委員の名前を書いていただくところにつきましては、一番上のシートだけご記入いただければ結構です。よろしくお願いいたします。事務局のほうからは以上です。

○大原副部会長 こちらのほう、F A Xはだめなんですよ。

○石川係長 大丈夫です。

○大原副部会長 F A X番号、皆さんご存じですかね。

○石川係長 6 9 1 3 - 6 2 3 5 です。

○大原副部会長 F A Xもよいということですね。

○石川係長 F A Xでも結構です。よろしくお願いいたします。

○大原副部会長 それではこれで鶴見区区政会議第1回つる魅力向上部会を閉会いたします。皆さん、遅くまでどうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 2 0 時 5 2 分